



第34回広報紙コンクール入賞校決まる!



今年度も「PTA実態調査」に、ご協力をいただきありがとうございました。各校PTA会長へ直接アンケートを実施し、県PTA連合会との連携等についていただきました貴重なご意見を、今後の活動に活かしていきたいと思ひます。尚、調査内容は県PTA事務局にて閲覧できますように致しております。また、今年度、体験学習として、「ドリームチャレンジャーin徳地」を初開催いたしました。自然のなかで、2泊3日の様々な活動を通して、繋がりがあつて生かされていることを実感しえた体験は、参加者、スタッフそれぞれの心に深く残つたことと思ひます。開催にあたり、ご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

事務委員会
委員長 縄田 和光



「子どもの声を聞いて下さい。」家庭教育委員会研修会の講師大石英史先生の言葉です。子どもと真剣に向き合ひ心の中を聞くことで見えてくる問題に取り組むことが、家庭教育の第一歩だと感じました。

また、今年度の「子育て子育て研修大会」は、発達障害をテーマに開催しました。児童・生徒の6〜7%といわれる発達障害ですが、適切な環境や周囲の理解等があれば充分社会に適応できるといわれています。学校・家庭・地域において、情報や知識を共有し問題に取り組んでいくけたらと思ひます。

研修会・研修大会の詳細は県PのHPに掲載しています。参考にさせていただきたいと思ひます。

家庭教育委員会
委員長 中磯 和子



本年度健全育成委員会では、子どもたちの携帯利用について、また、保護者の携帯電話の知識について県内の各小中学校PTAにDVDを配布させて頂きました。

子どもたちの携帯電話知識は進化し続けています。保護者の無知が子どもたちを被害者に、また加害者にしていきます。

携帯電話の必要性・危険性について、今度各家庭で親子が向き合つて話をして頂きたいと思ひます。

今後、当委員会としても携帯電話・ネット遊びの危険性について啓発して行きたいと考えております。子どもたちの健全な育成を図るためにもご理解・ご協力をお願い申し上げます。年間大変お世話になりました。

健全育成委員会
委員長 永田 京介

子どもたちの 明るい未来のために…



教育問題委員会の今年度の取り組みは、研究指定校と山口県教育委員会との懇談会開催でした。私の力不足で中途半端に終わに残念に思っています。昨年末の金融危機は今後、教育環境においても少なからず影響があると思ひます。今でも少ない予算でやり繰りしている中で、効率化と合わせて今まで以上に「自分たちでできることは自分たちです」という意識がとても大切になります。懇談会が今後その方向で実施されれば良いと思ひました。

教育問題委員会 委員長 重岡 正裕

PTA会員の補償制度について

詳細についてはチラシをご覧ください

山口県PTA連合会では、児童生徒はもちろんPTA会員のための補償制度を整備しております。

山口県PTA安全互助会 (各PTAが団体加入)	小学生・中学生総合保障制度 (個人で加入)
PTA行事参加者(保護者・教員・児童・生徒・会員と生計を一にする同居の親族・ボランティア参加者)の ケガの補償 賠償責任の補償 各単位PTAを通じてご請求ください。	お子さま方の ケガ、賠償責任、持物、 育英費用、細菌性食中毒、 犯罪被害、病気 を補償します。 新年度ごと学校を通じて加入者を募集しています。

■問い合わせ先／
〒753-0072山口市大手町2-18県教育会館内

山口県PTA安全互助会

TEL 083-925-6778
FAX 083-925-3815

編集後記

幸いながら…苦勞多かつたがゆえの喜びにひたっています。94・95号と1年間ご愛読? いただきありがとうございました。

編集委員

優 子 (山口市)
原 幸雄 (下松市)
三分一 幸治 (周南市)
伊 藤 伸之 (美祢市)
石 井 今日子 (下関市)
金 澤 千 晶 (阿東町)
生 田 みゆき (防府市)

一年間ご協力ありがとうございました。

◆様々な広報紙のスタイルがありますが、伝えたいことをわかりやすく発信されている広報紙づくりは、まさにPTAの知恵と知識のたまものなのです。(原田 幸雄) ◆学校の規模の大小にかかわらず、一生懸命に創られている広報紙は手に取った瞬間に気持ちが高揚してくると思います。PTAの活動が伝わります。◆

今年もPTA広報紙コンクールにたくさんの方の応募を頂きました。PTA活動の中でも最も敬遠される(?)広報部ですが、各校の広報部の皆さんの力作が揃い、審査も二日間に亘りました。広報紙は学校新聞と違い、単に学校の行事などを紹介するものではなく、PTA活動を会員・家庭・地域に知ってもらい、会員相互のコミュニケーションを図り、PTA活動をさらに活性化するのが目的です。フルカラーで十数ページのきれいな広報紙からモノクロコピー一枚の手作り感あふれるものなど様々でしたが、本当にPTAの皆さんの情熱が伝わってくるような『温かい』広報紙がたくさんありました。



周陽中広報部の皆さん

※二次審査風景 (H21.1.10 於:山口県教育会館)

中学校の部
山口県知事賞
「ふれあい」周南市立周陽中学校PTA



県知事賞の常連校、周陽中学校の広報紙は今年も「見て、読んで楽しい」でした。毎回紙面の半分以上が特集のページで構成され、一学期の特集「朝食」では、いろんな家庭の朝食のメニューを写真入りで紹介したり、朝食についての生徒のアンケートや、栄養士さんに聞いた「朝食おすすめレシピ」を紹介。二学期は「給食」をテーマに、広報部のお母さん方が実際に給食センターに取材に伺った様子が詳しく紹介されています。いずれも写真を多用し、記事とのバランスもとれた楽しい広報紙ということで高い評価となりました。ちなみに三学期は、「おやつ／夜食」特集という事です。

受賞の声

周陽中広報部長 瀧野志保

山口県教育長賞



県PTA連合会長賞

福栄中「宙」 華西中「うしお」
右田中「佐波川」 長成中「長成バルス」

優秀賞

東岐波中 山田附属山口中 鴻南中 阿知須中
美和中 田布施中 川下中 湯田中 本郷中
白石中 山の田中

第34回広報紙コンクール 受賞おめでとう!!

小学校の部
山口県知事賞
「公集山」下松市立公集小学校PTA



テレビの取材を受ける伊賀さん

受賞の声

今年の広報部のメンバーは保護者から立候補して8名があつまり、家庭に伝えたい事を一生懸命考えて編集しました。本当は、まだまだ伝えたい事がいっぱいあり、ページ数を増やしたかったのですが…。2年前から業者に印刷を出さない方針なのですが、お金をかけなくてもこのような賞を受賞できたことを大変光栄に思います。
公集小広報部長 伊賀真奈美

県PTA連合会長賞

勝山小「あおやま」 須恵小「プチゆうあい」 秋穂小「いなほ」 豊浦小「とよら」
佐賀小「ふれあい」 山大附属山口小「はぐくみ」 勝間小「かつま」
福川小「翔」 松崎小「まつさき」 藤山小「プラタナス」 仙崎小「みすゞ通り」

優秀賞

玉祖小 厚南小 育英小 小郡小 阿知須小 東小 大田小 椿西小 さくら小
赤崎小 美川小 愛宕小 麻郷小 山大附属光小 三見小 徳佐小

山口県教育長賞

大内南小「みなみかぜ」 川上小「散歩道」



★特別賞★

写真賞 豊浦小学校
企画賞 勝山小学校
レイアウト賞 福栄中学校
アナログ賞 佐賀小学校

応募総数
180校
小学校117校
中学校63校

特集ベスト3

小学校	中学校
食育………18校 親子関係……11校 携帯電話……5校	携帯電話……9校 食育………5校 親子関係……3校
・読んでほしい本の紹介 ・地域の方へのインタビュー ・自分で自分を守る ・生活リズムについて ・危険場所マップ ・なんでもランキング ・自転車の乗り方 ・子どもの体力について ・地元クイズ etc.	・PTA役員選出について ・いじめの問題について ・自転車のルール ・学校の歴史 ・人権教育について ・タバコの害について ・不要物について ・保健室事情 ・座談会 etc.



今回の一次審査の様子です。広報委員会のメンバー全員が180校の広報紙すべてに目を通し、厳正に審査された60校の広報紙が二次審査へと進みました。それにしてもかなりの重労働でした…。

県PTA広報委員会の声 ◆まだまだ多くの広報紙の内容が「学校行事紹介」のみで終わっています。毎年県Pでは、広報紙づくり研修会を行っていますが、今年の入賞校のように、お金をかけなくても素晴らしい広報紙が出来るということを伝えていきたいです。(龍優子)

講評

今年の公集小学校の広報紙には本当に驚かされました。最近の広報紙は、各PTAの手作りの原稿を印刷業者にレイアウトして印刷したものが多くありますが、この「公集山」は、広報部員が手作りの学校のコピー機で印刷した究極の手作り広報紙です。しかも内容が半端無く深いもので、複数ページに渡る特集とPTA活動が克明に紹介されています。特集記事の取り上げ方も独特です。自転車の乗り方をクイズ形式で紹介して楽しく読める工夫をしようとした安全特集での「おまわりさん直撃インタビュー」も新鮮です。携帯電話の特集では、隣の中学校の携帯電話を紹介し、保護者の興味のある記事を見事に読み物にしています。お金をかけなくても素晴らしい広報紙が出来る…という見本ですね。広報部の皆さんの努力に敬意を表します。



教育長賞の勝山中広報紙の特集「それでもあなたは喫煙しますか?」のタイトルと内容には、審査員全員の目が釘付けになりました! こういう記事なら絶対に読みたくなりますよね。



アナログ賞の佐賀小の広報紙は、文字通りすべて「手書き」です。ワープロ文字も一切無し! パソコンで出来る作業も、アナログで仕上げた方が見る人にも感動を与えます。



企画賞の勝山小は、発想が群を抜いていた。Yes-No方式で保護者のタイプをPTA専門部に誘導してしまう!こんな方法があったとは!!



残念ながら入賞とはなりませんが、県PTA広報委員会のなかで大ウケだったのが、俵山中広報紙。一見「東スポか?」と思える程見出しのインパクトが強く、徹底的に自分たちで楽しんで創っているのがよくわかる楽しい広報紙でした。その時の流行語やギャグもすっかり入っています。

ふれてみて、広報に対する考えが変わりました。何枚かの誌面にたくさんの想い、考えがあふれ伝わってきました。楽しいですよ、広報も! (生田みゆき)

180校の広報紙を分析してみました。
広報紙データ2008

